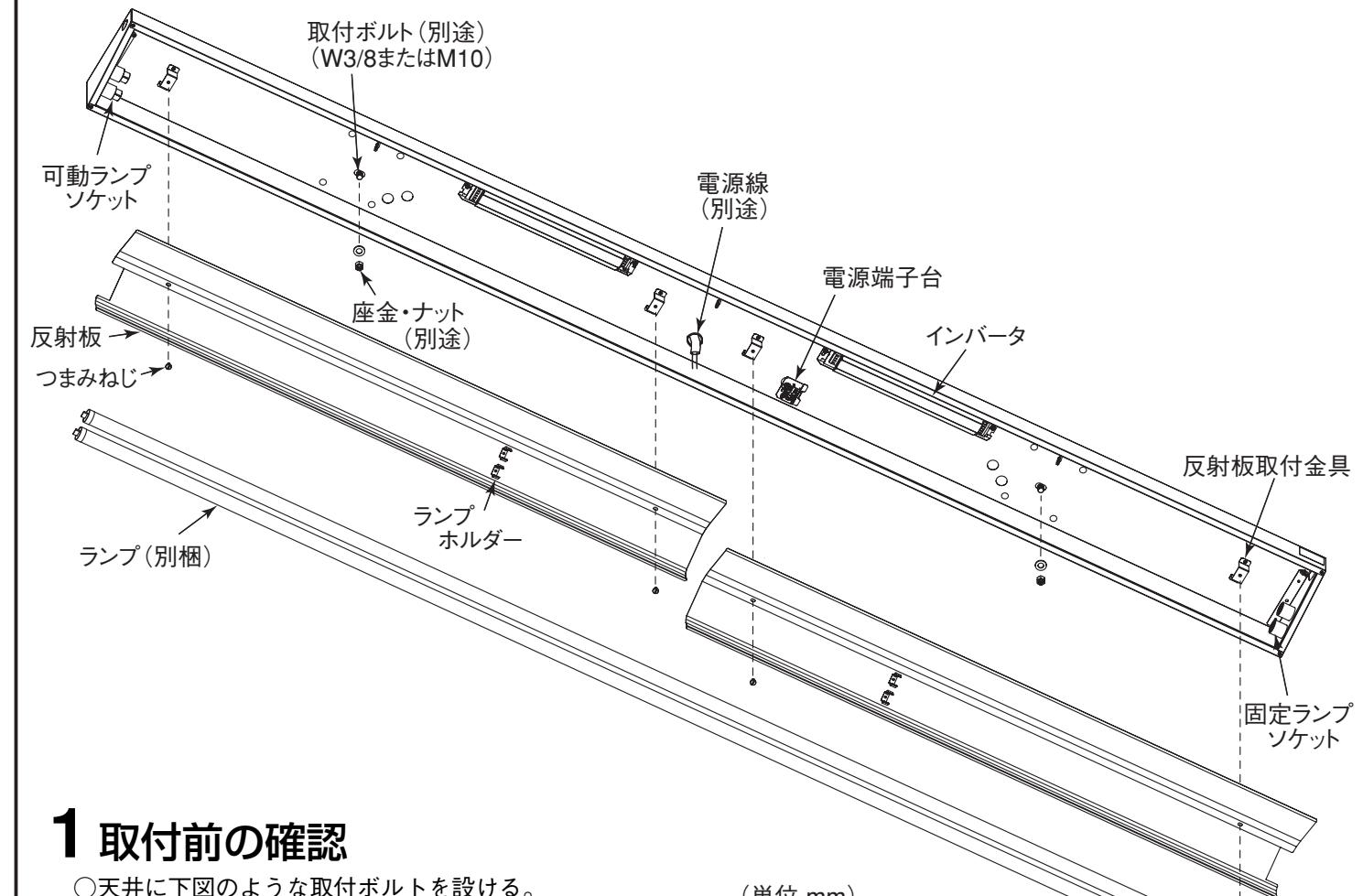
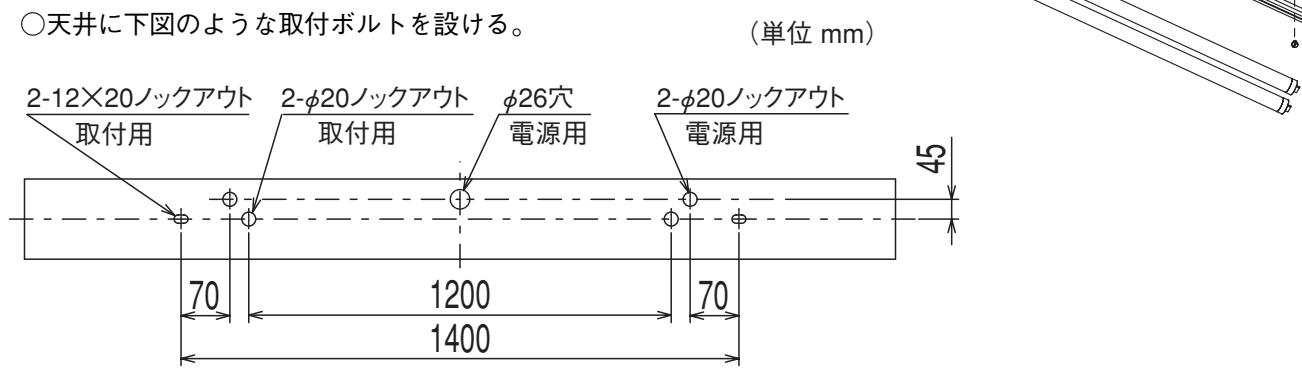


各部のなまえと取付けかた

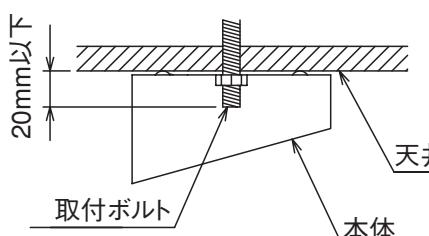


1 取付前の確認

○天井に下図のような取付ボルトを設ける。



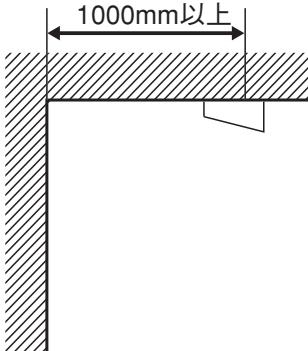
○取付ボルト長さは、天井面より20mm以下にする。



○器具質量に十分耐えるようボルト取付部の強度を確保する。

△警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
(落下の原因)

○器具は壁面よりランプまで1000mm以上離して取付ける。

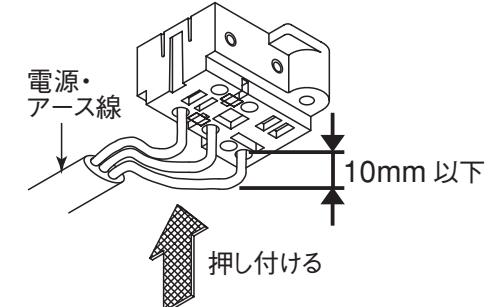


2 器具本体をボルトに取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取り付ボルトに確実に取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。(ゆるみ止め:ダブルナット・歯付座金・ばね座金など)

△警告

取付けが不完全な場合落下の原因



※器具内で送り配線を行う場合は、反射板との当たりを防ぐため、電源線にたるみないように配線する。

○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

3 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種) 接地工事が必要です。>

○電源端子台の容量は20Aです

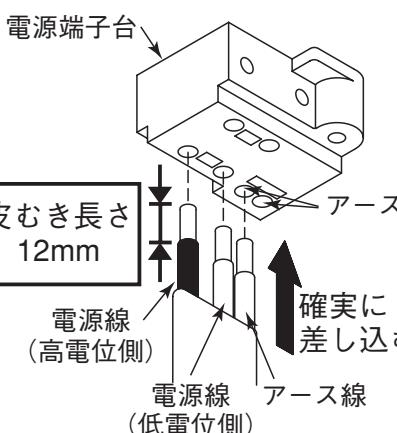
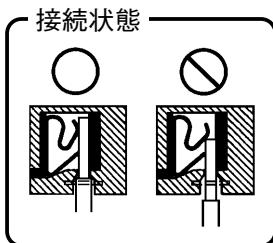
○適合電線: $\phi 1.6\text{mm}$ 単線 $\phi 2.0\text{mm}$ 単線

△警告

送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

△警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む(差し込み不足は接触不良により火災・感電の原因)

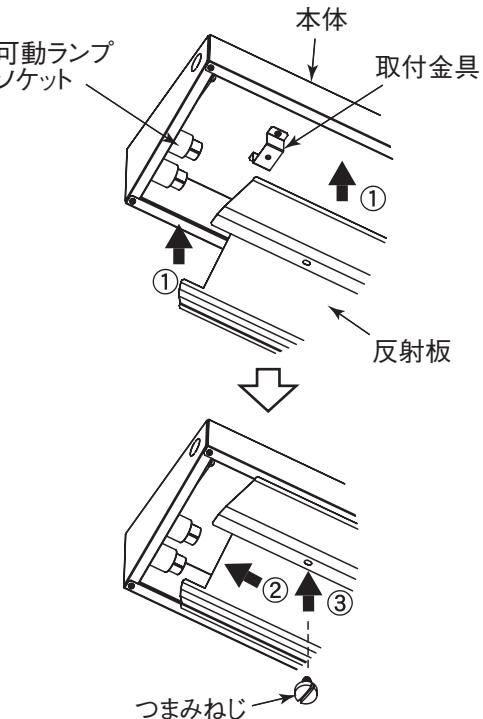


*電源線の送り配線は必ず中央電源穴を使用する。

- (3) 電源線(アース線)の挿入部は反射板との当たりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。

4 反射板を取付ける

- (1) 可動ランプソケット側の反射板を取付ける。
・反射板を本体に当てる。(下図 矢印①)
・可動ランプソケット側へ反射板をスライドさせる。(下図 矢印②)
・反射板をつまみねじで2ヶ所取付金具に止める。(下図 矢印③)
- (2) 固定ランプソケット側の反射板を取付ける。
・反射板を本体に当てる。(下図 矢印①)
・反射板をつまみねじで2ヶ所取付金具に止める。(下図 矢印③)



△注意
取付けが不完全な場合落下の原因

5 ランプを確実に取付ける

可動ランプソケットへランプを差し込んでから、固定ランプソケットに差し込んで固定する。

△注意
取付けが不完全な場合落下の原因